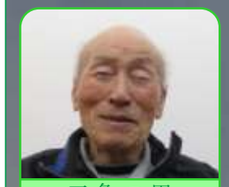
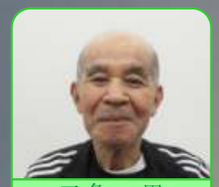
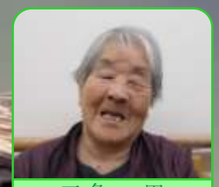
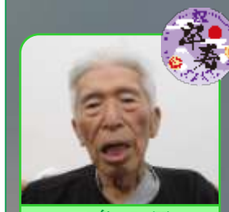

元亀の里
本山幸男様


元亀の里
内野繋様

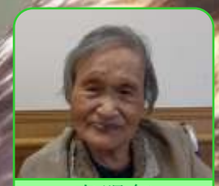
元亀の里
渋江妙子様


元亀の里
田崎ナツエ様

元亀の里
井村ヨシエ様


元亀の里
志田不二生様

寿限無
西村幸代様


寿限無
田中ミス様

寿限無
村上キクエ様

風和の里
田﨑スミエ様

風和の里
朝長ミキ様

風和の里
川添忠邦様

風和の里
石田キクヨ様

HAPPY BIRTHDAY

風和の里
山岡モヨ様

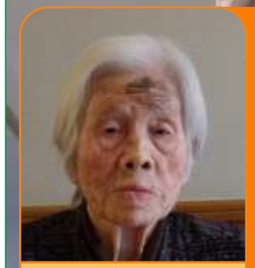
風和の里
原口キン様

風和の里
栗山貴美子様

通所リハビリ
田平武彦様

グループホーム
橋口蔵治様

バースデーインタビュー


風和の里
田中キク様

昭和2年11月28日、西彼町八木原で7人兄弟の長女として生まれた彼女。幼い頃は兄弟たちの面倒を見ながら畑で草取りをして過ごしましたが、草取りが苦手で、つい友達の家へ毎日のように遊びに行っていたと笑って振り返ります。24歳のときに親せきの紹介でご主人と出会い、結婚後は3人のお子さんに恵まれました。子どもたちの世話は同居のお姑さんに助けてもらいながら、ご主人と共にみかん作りに励む日々。しかし、みかん作りだけでは生活が安定せず、西海橋がかかると、ご主人は自転車で橋まで行き、バスでSSKへ通勤するようになりました。毎朝4時に起きてお弁当を作っていたため、「寝坊しないか心配でしたね」と当時の思いを語られます。ご主人は出張が多く家にいないことも多かったため、子どもが熱を出したりケガをしたときは大変だったそうですが、「お姑さんがいてくれたから本当に助かりました」と感謝の言葉を口にされました。ご主人はSSKで30年間勤め上げ、定年後は夫婦で穏やかに過ごしましたが、94か95歳で亡くなられ、その後は一人での生活に。「でも、近くに長男夫婦と孫がいてくれて本当によかった」と、支えてくれる家族への思いを温かく語ってくださいました。

11月10日～15日、丘の家2階にて、コミュニティセンター元亀をご利用の皆さんによる手作り作品の展示会を行いました。会場では、籠や塗り絵など多彩な作品が並び、来場された利用者の皆さんは興味深く鑑賞されていました。作品をスマートフォンで撮影し、「家族にも見せたい」と話される利用者もおり、皆さんが作品を通じて楽しい時間を過ごされていました。

グループホーム

今月の作品紹介

寿限無３階ショートスティ利用者

通所介護

寿限無２階

今月の職員紹介

宮原真奈美

2025年8月より、元亀の里通所リハビリで看護師として勤務しております。結婚を機に看護職から離れていたためブランクも長く、さらに介護施設での経験もなかったことから、入職当初は不安でいっぱいでした。しかし、利用者様やリハビリ室のスタッフの皆様に丁寧に教えていただき、少しずつ業務にも慣れ、できることが増えてきました。これからも介護やリハビリについての学びを深めながら、利用者様が安心して過ごせるように安全に気を配り、ニーズに寄り添ったケアを心がけてまいります。

お楽しみメニュー

- 海鮮散らし寿司
- 煮物盛り合わせ
- 春菊のお浸し
- 赤だし
- みかん

秋の行楽弁当メニュー

- きのこごはん
- 鮭の西京焼き
- 厚焼き玉子
- 栗きんとん
- そうめん汁
- ロールケーキ
- 高菜漬け
- 筑前煮

10月29日、通所介護に中山認定こども園の園児3名がハロウィン訪問に来てくれました。園児たちが「トリック・オア・トリート！」と声をかけると、利用者の皆様は笑顔でお菓子を手渡し、温かい雰囲気に包まれました。続いて園児による歌の披露があり、3曲のうち1曲には手話も取り入れられていました。園児や先生の手の動きを真似して一緒に楽しむ参加者の姿も見られ、心和む交流の時間となりました。

10月31日、寿限無に琴海保育園の子どもたちがハロウィンパレードに来てくれました。利用者様も仮装の準備をして、この日を楽しみに待っておられました。当日は、子どもたちが元気いっぱいに歌を披露し、利用者様も大変喜ばれていました。子どもたちの明るい声に、たくさんの元気をもらうひとときとなりました。

2025年11月18日（火）、シニアヴィレッジせいひにて消火訓練を行いました。参加者は消火器や屋内消火栓の正しい取り扱いを学び、火災発生時に迅速な初期消火が行えるよう実践的な訓練に取り組みました。

11月15日、元亀の里で職員の交流を目的に、たこ焼きパーティーを行いました。今年新しく入職した実習生10名も参加し、楽しい会となりました。たこ焼きは好評でおかわりする姿も見られ、じゃんけんゲームや椅子取りゲームでは、勤務中の真面目な雰囲気とは違い、大きな声で笑い合う姿が印象的でした。職員同士でたこ焼きを焼きながら親しみを深めることができました。

10月31日、丘の家3階にて夜間火災を想定した消防総合訓練を実施しました。消防隊員の指導のもと、参加者12名が初期消火・通報・避難の流れを確認し、実際の災害時に必要な対応を学びました。避難ルートの再確認も行い、有意義な訓練となりました。

11月20日、川添忠邦様が満100歳を迎えられました。当日は西海市市長が来苑し、記念品が贈呈されました。ご長男様と奥様も「100歳を迎えられて本当に良かった。これからも元気で長生きしてほしいです」と喜ばれ、ご本人も照れくさそうに「ありがとう」と手を合わせ、嬉しそうなご様子でした。

随随ずっこちばし

せいひ会の職員が思うがままをリレー式に綴るコーナー。
今月は、寿限無の森永波江さんです。

来年から高校生になる娘の部屋を、今夏大規模に模様替えしたときのことです。懐かしい気持ちを味わいながら片づけを進めていると、保育園時代に使っていた“おどうぐばこ”が出てきました。わくわくしながら蓋を開けると、中から“おえかきちょう”が。パラパラとページをめくった瞬間、手が止まりました。そこには、当時まだ「ま」を左右逆に書いていた5歳の娘の字で『ままのばか』とありました。思春期の今では想像できないほど聞き分けがよく、わがまま一つ言わなかった小さな娘の姿がふっと浮かびます。「10年前、私は何をしてしまったんだろう？」気になって娘に聞いてみると、「“正直に言ったら怒らないよ”って言ったくせに、正直に話したらめっちゃ怒ってきた」との答えが返ってきました。当時の私が都合よく使っていた“魔法の言葉”が、ばっちり記憶に残っていたようです。その落書きに詰まった5歳の正義と悔しさを思うと申し訳なさで胸が痛む一方で、こんなふうに振り返りながら成長を感じられる今が、とてもありがたく思えました。あのときの私ではなく、“今の私”がこの落書きを見つけられてよかった。娘に素直に謝るきっかけになり、そして何より、捨てられない大切な宝物になりました。

せいひ会だより

2025年（令和7年）
12月1日発行
＜第318号＞
社会福祉法人せいひ会
http://www.seihikai.jp/

11月上旬、風和の里とグループホームで秋の恒例行事・芋の収穫を行いました。8日の風和の里では、畑がないため大きなプランターを使って栽培に挑戦。畑ほど自由に根を伸ばせない環境でしたが、指先ほどの可愛らしいお芋がたくさん育ち、利用者の皆さんも大喜びでした。収穫したお芋は蒸して味わい、「甘くておいしかった」「来年も作りたいね」と笑顔が広がりました。翌9日はグループホームで芋ほりを実施。天候にも恵まれ、立派なお芋が次々と収穫できました。蒸したお芋はおやつに提供し、「今年は大成功」と好評でした。また、芋づるは皆さんで筋取りを行い、金平にして昼食でいただきました。小さなお芋から大きなお芋まで、育てる楽しさ・収穫の喜び・食べる幸せを感じられる、心温まるひとときとなりました。

１１月の行事

３日	芋ほり	（GH）
１０～１５日	作品展示会	（通所介護）

１２月の行事予定

２４、２５日	クリスマス会	（各事業所）
９，２０日	お誕生会	（通所介護）